

集団的自衛権解釈

「私の責任で判断」

復帰の小松長官答弁

小松一郎内閣法制局長官は二十六日の衆院予算委員会の分科会で、集団的自衛権の行使容認に向けた憲法解釈の変更に関し「法制局内で議論を積み重ねている。最終的に私の責任で判断する」と述べた。小松氏

の国会答弁は病氣療養からの復帰後初めて。

小松氏は内閣法制局の役割について「安倍晋三首相は有識者懇談会の報告書を待って、全体を見直したいと言っている。それを踏まえ、従来の憲法解釈のままが良いのか、改める余地があるのか検討する。結果を予断することはできない」と説明した。